

新正書法準拠
Nova Ortografia

sample

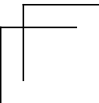
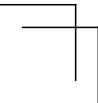
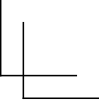
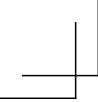
増補改訂版

基礎ポルトガル語文法

Nova Edição Revista e Aumentada
Gramática Essencial do
Português

彌永史郎著

Shiro Iyanaga



はじめに

本書はポルトガル語を基礎から学ぶための文法書です。

ポルトガル語はヨーロッパのポルトガル、南米のブラジルをはじめアフリカのアンゴラ、カーボヴェルデ、ギニア・ビサウ、サントメ・イ・プリンシペ、モザンビークなどの国々、さらにはアジアの東ティモールに至る広い世界で用いられる言語です。その使用人口は2億8千万人、世界第4位の言語と言われ、世界各地に散在するポルトガル語系コミュニティーも含めるとその通用範囲は広大です。またラテン系諸語のひとつで、イタリア語、スペイン語、フランス語、などとも共通項の多い実用的な言語です。

この本で学ぶ文法は広大なポルトガル語圏におけるコミュニケーションの軸となる標準的な書き言葉の文法です。文語文法という、いわゆる学校文法として知られる規範文法を連想する向きもあるかもしれませんが、しかし本書ではポルトガル語の実用的な言語使用に即した実証的な研究成果を盛り込み、標準的な文語文法を簡潔に解説すべく努めました。

東ティモール人とブラジル人とが互いにポルトガル語で話を通じるのは、その基本となる言語の規則、つまり文法を共有しているからです。むろん標準的口語は時代と共に少しずつ変化し標準的な文語に反映していきませんが、文語の変化は口語に比べてゆるやかで、その骨組みである文法は簡単には変化しないのです。

言語の根本は音声ですから、発音や音調に関する重要な解説をはじめ標準的な口語に関する重要な項目もできる限り盛り込むようにしました。正確で標準的な発音を学べるよう、必要に応じて国際音声アルファベットに基づく正しい音声表記を併記してあります。

ポルトガル語圏には大きく分けてヨーロッパのポルトガル語(PE)とブラジルのポルトガル語(PB)の2種類の言語グループがあります。最近ではインターネット経由でポルトガル語圏アフリカ諸国の人々が話すポルトガル語も容易に耳にできるようになりました。こうしたアフリカ諸国ではPEに準ずるポルトガル語が概ね標準とされています。PEとPBの両者は音声をはじめ、語彙、形態、統語、意味などさまざまな点で体系的対照を見せています。本書ではPE、PB両者の文法事項について、必要に応じた解説をバランスよく加えてありま

す。読者は自らの興味や必要に従って、どちらかに重きをおいて学習するとよいでしょう。すでにポルトガル語を勉強したことがあり、基礎的な素養のある方が知識を見直すためにも十分な内容が含まれています。

本書では2016年に完全に移行した新正書法に準拠すべく、旧版を改訂しました。改訂にあたり、内容を精選し簡潔で十分な解説に配慮しました。同僚の上田寿美先生、岐部雅之先生に校正をお手伝いいただき、練習問題の編集・作成には上田先生の綿密な仕事に大きく負っております。またポルトガル語の範例文の校閲は同僚のカリーナ・サルダーニャ先生に、初版の索引作成には塚田智恵先生に大変お世話になりました。皆様の緻密な修正と真摯な提案によって改訂版が可能になった次第です。記して深謝いたします。

本書では基礎的な内容を中心に、中級・上級の文法事項についても参照可能な構成にしています。学習者の便宜のためインターネット上で参照できる様々なポルトガル語関係のサイトやアプリケーションを巻末で紹介しました。オンライン辞書、動詞活用表（音声表記付き）、文法用語小辞典、正書法語彙表(VOP)など携帯端末からも容易にアクセスできる重要なツールを活用して下さい。

外国語の表す意味に到達するには、正しい文法の理解が不可欠です。ポルトガル語の修得を目指す読者の皆さんが、本書を通じて、さらに深く正確なポルトガル語のコミュニケーションを達成されることを願って止みません。

2018年1月

改訂版第1版を上梓して以来散見された誤植等を修正し、さらに前置詞に関して加筆し、このたび増補改訂第3版を刊行することとなりました。例文の校閲にはいつもながら同僚のペドロ・アイレス先生に大変お世話になりました。『ポルトガル語四週間』のダイジェスト版を目指して2007年に始めた仕事が少々方向を変えて一区切りついたと思います。記して皆様のご協力に御礼申し上げます。

2022年7月

著者しるす

目 次

第1課.....	1
1.1. 発音と正書法.....	1
1.2. 文字.....	1
1.3. 音声記号.....	2
1.4. アクセント記号.....	3
第2課.....	5
2.1. 注意を要する子音字.....	5
2.2. 強勢とアクセント記号.....	7
第3課.....	11
3.1. 名詞の性と数.....	11
3.2. 文法性と自然性.....	11
3.3. 文法性の区別.....	11
3.4. 名詞の数.....	13
3.5. 定冠詞と不定冠詞.....	16
3.6. 存在をあらわす動詞 haver の用法.....	16
3.7. 人称代名詞と敬称代名詞.....	17
3.8. 叙述動詞 ser の直説法・現在形.....	17
3.9. 文法的人称と機能的人称.....	18
3.10. 親称の主格人称代名詞.....	18
3.11. 肯定文と否定文.....	19

目次

第4課.....	21
4.1. 定冠詞・不定冠詞と前置詞の縮約.....	21
4.2. 叙述動詞 <i>estar</i> の直説法・現在形.....	22
4.3. 叙述動詞 <i>ficar</i> の直説法・現在形.....	23
4.4. 定冠詞の用法.....	23
4.5. 不定冠詞の用法.....	27
4.6. 数詞の用法 — 1から20までの基数と序数.....	28
4.7. 曜日名、月名.....	29
4.8. 季節の名称.....	30
第5課.....	33
5.1. 形容詞の用法と位置.....	33
5.2. 形容詞の性と数.....	33
5.3. 形容詞の文法性.....	34
5.4. 形容詞の数.....	37
5.5. 動詞 <i>ir, vir</i>	38
5.6. 疑問詞 <i>onde</i> の用法.....	39
5.7. 数詞の用法 — 21から100までの基数と序数.....	40
第6課.....	43
6.1. 規則動詞の分類.....	43
6.2. 動詞変化.....	43
6.3. 直説法・現在形の活用と発音：規則変化動詞.....	43
6.4. 叙述動詞.....	46
6.5. 数詞の用法 — 101以上1,000までの基数と序数.....	49
6.6. 数の表現 (1,000以上).....	49
6.7. 概数.....	50

第7課.....	53
7.1. 平叙文と疑問文：音調の役割.....	53
7.2. 音調の基礎.....	53
7.3. 疑問詞 <i>quanto(s)</i> , <i>quanta(s)</i> の用法.....	55
7.4. 疑問詞 <i>quem</i> の用法.....	56
7.5. 不定冠詞の複数形.....	56
7.6. 文の種類.....	56
7.7. 付加疑問文.....	57
第8課.....	61
8.1. 人称代名詞.....	61
8.2. 前置詞とともに用いる人称代名詞.....	61
8.3. 前置詞 + <i>si</i> 及び <i>con</i> の用法.....	62
8.4. 人称代名詞の用法と無強勢代名詞の位置 — 1.....	62
8.5. 指示詞.....	65
8.6. 指示詞の用法.....	66
8.7. 所有形容詞.....	67
8.8. 疑問詞 <i>que</i> の用法.....	68
8.9. 疑問詞 <i>como</i> の用法.....	69
8.10. 疑問詞 <i>quando</i> の用法.....	69
8.11. 時間の表現.....	69
第9課.....	73
9.1. 人称代名詞、 <i>o(s)</i> , <i>a(s)</i> の形式.....	73
9.2. 無強勢代名詞の位置 — 2.....	75
9.3. 指示代名詞としての <i>o(s)</i> , <i>a(s)</i> の形式.....	75
9.4. 無強勢代名詞の縮約.....	76
9.5. 副詞.....	76
9.6. 不規則動詞.....	78

目次

第10課.....	85
10.1. 比較.....	85
10.2. 形容詞の最上級.....	86
10.3. 比較表現.....	88
10.4. 疑問詞 qual の用法.....	89
10.5. 関係代名詞 que の用法.....	90
10.6. 関係代名詞 quem の用法.....	91
10.7. 関係代名詞 qual, quais の用法.....	92
10.8. 不定詞.....	92
第11課.....	95
11.1. 助動詞.....	95
11.2. 現在分詞.....	95
11.3. 助動詞の主要な用法.....	96
11.4. 現在分詞を伴う動詞迂言表現.....	99
第12課.....	103
12.1. 関係代名詞の用法.....	103
12.2. 不定代名詞.....	104
12.3. 接続詞としての que の用法.....	108
12.4. 疑問詞 porque por que の用法.....	108
12.5. 無強勢代名詞の位置 — 3：従属節において.....	109
12.6. 疑問詞のまとめ.....	110
第13課.....	113
13.1. 能動態と受動態.....	113
13.2. 過去分詞.....	113

13.3. 過去分詞の用法	115
13.4. 現在分詞の用法	116
13.5. 再帰代名詞	118
13.6. 非人称動詞	121
13.7. 命令文	121
13.8. 命令法	122
第14課	125
14.1. se 付き動詞の用法	125
14.2. se の位置	126
14.3. 接続詞 se に導かれる従属節	126
14.4. 感嘆文	127
14.5. 直説法・過去形	127
14.6. 直説法・過去形の活用	127
14.7. 直説法の時称体系:現在形と過去形	129
14.8. 直説法・現在形の用法	130
14.9. 直説法・過去形の用法	131
第15課	133
15.1. 直説法・未来形	133
15.2. 直説法・未来形:不規則動詞	134
15.3. 直説法・未来形の用法	134
15.4. 直説法・未来形と動詞迂言表現	135
15.5. 内接辞を伴う形式	136
15.6. 主要な動詞迂言表現	137
15.7. 文の構造と動詞の意味	138
15.8. 形容詞の支配	139

目次

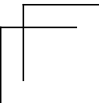
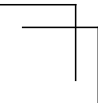
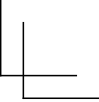
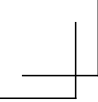
第16課.....	141
16.1. 直説法・複合過去形.....	141
16.2. 不定詞.....	142
16.3. 数に関する基礎的表現.....	145
16.4. 直説法・半過去形.....	147
16.5. 直説法・半過去形の活用.....	147
16.6. 直説法・半過去形の用法.....	149
16.7. 直説法・過去形と直説法・半過去形.....	151
第17課.....	155
17.1. 直説法・大過去形.....	155
17.2. 直説法・大過去形の活用.....	155
17.3. 直説法・大過去形の用法.....	157
17.4. 複文：名詞節の機能.....	159
17.5. 話法の基礎.....	161
17.6. 話法：変換の原則.....	162
17.7. 直説法・過去未来形.....	163
17.8. 内接辞をともなう形式.....	165
17.9. 直説法・過去未来形の意味・用法.....	165
第18課.....	169
18.1. 直説法・複合未来形.....	169
18.2. 人称不定詞.....	170
18.3. モダリティ.....	173
18.4. 前置詞と冠詞が縮約しない場合.....	176
18.5. 引用符.....	176

第19課	179
19.1. 命令文：接続法・現在形	179
19.2. 命令文：主語と動詞の形式	182
19.3. 命令文の種類：肯定命令文と否定命令文	184
第20課	191
20.1. 従属節における接続法	191
20.2. 祈願文	193
20.3. 形容詞節における接続法	193
20.4. 接続法・未来形	194
20.5. 接続法・未来形(単純形)の活用	194
20.6. 接続法・複合未来形	196
20.7. 接続法・未来形の用法	196
20.8. 接続法・複合未来形の用法	197
20.9. 副詞詞節における接続法	197
第21課	201
21.1. 接続法・半過去形	201
21.2. 接続法・大過去形	204
21.3. 直説法・複合過去未来形	205
21.4. 条件文：条件節(副詞節)と帰結節(主節)	207
21.5. 条件文による丁寧・婉曲表現	210
21.6. 比喩表現における接続法：como se	210
第22課	213
22.1. 接続法・過去形	213
22.2. 時称のまとめ	215

目次

22.3. 現在の時間軸における前後関係.....	216
22.4. 過去の時間軸における前後関係.....	217
補遺	221
I. 話法	221
II. 話法の変換	226
III. 前置詞	230
引用文献一覧	252
索引	255

基礎ポルトガル語文法



第 1 課

1.1. 発音と正書法

ポルトガル語のアルファベットはラテン文字にいくつかの補助記号を加えたものです。これらの文字と補助記号を用いて言語を書き表す方法を正書法と呼びます。全体としては、ポルトガル語の正書法の体系はきわめて簡潔で言語音との対応は明快です。

1.2. 文字

ポルトガル語で用いる文字は以下の 26 文字です⁽¹⁾。

文字	名称	音
A/ a	á	/ 'a /
B/ b	bê	/ 'be /
C/ c	cê	/ 'se /
D/ d	dê	/ 'de /
E/ e	é	/ 'e /
F/ f	efe	/ 'ɛ.fi 'e.fi /
G/ g	guê gê	/ 'ge / / 'ze /
H/ h	agá	/ ɛ.'ga a.'ga /
I/ i	i	/ 'i /
J/ j	jota	/ 'ʒɔ.te 'ʒɔ.ta /
K/ k	capa	/ 'ka.pɛ 'ka.pa / ⁽²⁾
	cá	/ 'ka /
L/ l	ele	/ 'ɛ.li 'e.li /
M/ m	eme	/ 'e.mi 'e.mi /
N/ n	ene	/ 'e.ni 'e.ni /

1. 本書では PE と PB とで同じ語の発音が異なる場合 / 'ɛ.fi | 'e.fi / のように縦線で区切り、縦線の左に PE の発音、縦線の右に PB の発音を示す。
2. PE では «capa» PB では «cá» が一般的。

第1課

O/ o	ó	/ 'o /
P/ p	pê	/ 'pe /
Q/ q	quê	/ 'ke /
R/ r	erre	/ 'ε.ɾi 'ε.xi /
S/ s	esse	/ 'ε.si 'ε.si /
T/ t	tê	/ 'te /
U/ u	u	/ 'u /
V/ v	vê	/ 've /
W/ w	dáblio	/ 'da.blju /
X/ x	xis	/ 'ʃiʃ 'ʃis /
Y/ y	ípsilon	/ 'ip.si.lõ /
Z/ z	zê	/ 'ze /

以下の文字と補助記号の組み合わせ、あるいは音声的に1単位をなす2文字の組み合わせ（二重字）をひとつの単位として扱います⁽³⁾。

Ç/ç	cê cedilhado	/ 'se si.di.'ʎa.du 'se se.dʒi.'ʎa.du /
RR	erre duplo	/ 'ε.ɾi 'du.plu 'ε.xi 'du.plu /
SS	esse duplo	/ 'ε.si 'ε.si 'du.plu /
CH	cê-agá	/ 'se v.'ga 'se a.'ga /
LH	ele-agá	/ 'ε.li v.'ga 'ε.li a.'ga /
NH	ene-agá	/ 'e.ni v.'ga 'e.ni a.'ga /
GU	guê-u	/ 'ge 'u /
QU	quê-u	/ 'ke 'u /

1.3. 音声記号

言語の音声を記述するには、人間の言語のあらゆる可能性を踏まえてひとつの言語音にひとつの記号を与えている、国際音声字母 (International Phonetic Alphabet) によるのが最も正確かつ効率的

3. 正書法協定 (Acordo Ortográfico da Língua Portuguesa de 1990) に基づく名称。

です。本書では IPA (1993年改訂、1996年修正) に準拠しポルトガル語正書法語彙 (VOP) で公開する表記法に基づき、初学者用に若干の変更を加えた方法で発音を記述しています⁽⁴⁾。

1.4. アクセント記号

音声表記においては、音節の切れ目をピリオド / ./ で示し、アクセントのある母音を含む音節の直前にアクセント記号 / ' / を置いて、その位置を示します。

例：saco / 'sa.ku /

練習問題 1.

- I. 母音の音質に注意してアルファベットの読み方を学びなさい。
- II. 母音の音質に注意して補助記号付きアルファベット、二重字の読み方を学びなさい。
- III. 以下の文字の名称をポルトガル語で書きなさい。

1. e
2. i
3. h
4. j
5. r
6. u
7. x
8. k
9. w
10. y

4. VOP は一般応用言語学研究所・理論計算言語学研究所 (CELGA-ILTEC – Centro de Estudos de Linguística Geral e Aplicada – Instituto de Linguística Teórica e Computacional) (celga.iltec.pt) で公開されている。

第 1 課

第 2 課

2.1. 注意を要する子音字

ひとつの言語音をあらわす方法が正書法上はいくつも存在する場合があります。以下、母音字と子音字との結合方法に重複のあるものを示します。○が結合可能であることを示します。

■ /s/ をあらわす子音字⁽¹⁾

	i	e	a	o	u	音節末
c	○ cima	○ cedo				
ç			○ çaça	○ aço	○ açúcar	
s	○ sina	○ seda	○ saída	○ sono	○ suco	○ (PB) país
ss	○ clássico	○ posse	○ passa	○ passo	○ assume	
x	○ auxílio	○ trouxe				
z						○ (PB) rapaz

■ /z/ をあらわす子音字

	i	e	a	o	u
s	○ música	○ José	○ asa	○ caso	○ resumo
z	○ vazio	○ lazer	○ azar	○ zona	○ azul
x	○ exílio	○ exército	○ exame	○ exótico	○ exultar

1. 音節末の <-s>, <-z> /s/ は後続語の語頭音によって逆行同化し音に変化する。後続語の語頭音が、(1) 無声子音の場合：/s/ → /ʃ/ (変化なし), (2) 有声子音の場合：/s/ → /z/ (3) 母音の場合：/s/ → /z/。詳しくは彌永 (1991) 『ポルトガル語発音ハンドブック』 大学書林 p.148.

第2課

■ /ʃ/をあらわす子音字(2)

	i	e	a	o	u	音節末
ch	<input type="radio"/> chique	<input type="radio"/> cheque	<input type="radio"/> chá	<input type="radio"/> chope	<input type="radio"/> chuva	
x	<input type="radio"/> abacaxi	<input type="radio"/> xeque	<input type="radio"/> caixa	<input type="radio"/> enxofre	<input type="radio"/> enxuto	
s						<input type="radio"/> (PE) aspas
z						<input type="radio"/> (PE) paz

■ /ʒ/をあらわす子音字

	i	e	a	o	u
g	<input type="radio"/> giz	<input type="radio"/> gelo			
j	<input type="radio"/> lojista	<input type="radio"/> jeito	<input type="radio"/> já	<input type="radio"/> major	<input type="radio"/> ajuda

■ /k/をあらわす子音字

	i	e	a	o	u
c			<input type="radio"/> cara	<input type="radio"/> comer	<input type="radio"/> curador
q					<input type="radio"/> quadro
qu	<input type="radio"/> aqui	<input type="radio"/> aquela			

■ /g/をあらわす子音字

	i	e	a	o	u
g			<input type="radio"/> gala	<input type="radio"/> gola	<input type="radio"/> gula
gu	<input type="radio"/> guia	<input type="radio"/> guerra			

2. 音節末の <-s>, <-z> /ʃ|s/ は後続語の語頭音によって逆行同化し音に変化する。
注1を参照。

■ hについて

語源的に保たれている h の文字は、黙字と呼ばれ発音されません⁽³⁾。

2.2. 強勢とアクセント記号

(1) 強さアクセント

ポルトガル語のアクセントは強さアクセントです。本書では「アクセント記号」との区別のため、「強さアクセント」を単に「強勢」と呼びます。強勢のある母音は強勢のない母音に比べて一般に長めに発音されます⁽⁴⁾。

camada [ke.'ma:.dɐ | ka.'ma:.da] — cama ['ke:.mɐ | 'ka:.ma]

強勢の位置によって意味の変わる語もあります。

dúvida / 'du.vi.dɐ | 'du.vi.da / — duvida / du.'vi.dɐ | du.'vi.da /
【名詞】疑念 — 【動詞】疑う

(直説法・現在・3人称・単数形)

大部分の語は強勢を持ちますが、1音節語の冠詞、代名詞、前置詞などは前後の語に寄りかかって、それらと一体化して発音される無強勢語です。

o teto / u 'tɛ.tu /

aos poucos / awʃ 'po.kuʃ | aws 'po.kus /

(2) 強勢の位置

ポルトガル語の語は後ろから2番目の音節に強勢を置くのが基本です。さらに語末の音節に強勢がある語、後ろから3番目の音節に強勢のある語の3種類があります。

-
3. 接頭辞と共に合成語を形作る場合 «h» は削除する。例：des + humano > desumano, in + hábil > inábil, re + haver > reaver.
4. 本書では通常 / / 内に音素表記に準ずる音声表記を用いるが、ここでは音の長さ [:] を示すため精密表記を用い [] 内に表記している。

あ

アクセント記号 3
 アルファベット 1
 意向 134
 意思 175
 一般疑問文 53
 引用符 176
 受け身のse 125
 婉曲 204
 婉曲・丁寧 150
 音声記号 2
 音調 53
 昇降調 53, 58

か

概数 27, 50, 56
 蓋然性 134, 174
 過去不定詞 143, 145
 過去分詞 113, 141
 過剰動詞 115
 家族名 24
 活用語尾 43-44, 127-29, 133-134,
 147-149, 155-7, 163-5, 170-1,
 179-82, 194-196, 201-2.
 仮定 206
 関係形容詞 *cujo* 104
 関係詞 *onde* 103
 関係代名詞 103
 制限的用法；～の 103
 非制限的用法；～の 103
 関係代名詞 *qual, quais* 92
 関係代名詞 *quanto* 55

関係代名詞 *que* 90
 関係代名詞 *quem* 91
 間接話法 161, 222, 224
 感嘆詞 *qual* 90
 感嘆文 127
 幹母音 35, 113, 157, 195, 202
 祈願文 193
 帰結節：条件文の～ 206
 季節 25
 規則動詞 43
 規則変化動詞 43
 機能的人称 18
 基本3時称 43
 疑問形容詞 55, 110
 疑問詞 110
 疑問詞 *como* 69
 疑問詞 *onde* 39
 疑問詞 *porque* | *por que*
 疑問詞 *qual* 89
 疑問詞 *quando* 69
 疑問詞 *quanto* 55
 疑問詞 *que* 68
 疑問詞 *quem* 56
 疑問代名詞 68, 110
 疑問副詞 110
 疑問文 56
 一般疑問文 53
 選択疑問文 55
 特殊疑問文 54
 逆行同化 5, 6
 強勢 7
 強勢音節 54
 強勢の位置 7

索引

索引

強調構文 108
 許可 174
 近接未来 96
 句前置詞 92, 236
 位取り 49
 経験 131
 過去の～ 158
 敬称代名詞 17
 継続 142, 150
 継続相 96, 100
 形容詞 33
 ～の限定用法 33
 ～の叙述用法 33
 形容詞句 117
 形容詞節 90, 91, 92, 103
 形容詞節内の接続法 193
 原級 85
 現在分詞 95, 99, 116
 限定用法：形容詞の～ 33
 語彙：ポルトガル語正書法語彙 3
 後者 67
 降昇降調 53
 合成語 7
 後接辞 63-4, 73, 75, 109, 136
 肯定疑問文 56
 肯定文 19, 63
 肯定命令文 121, 179, 184-8
 国際音声字母 2
 語根 43, 113, 127, 147
 語根母音 44, 45, 80, 81
 固有名詞 27
 コロン 221

さ

再帰代名詞 118
 使役動詞 144, 172
 時間 197
 時間の経過 121
 指示形容詞 65
 指示詞 65
 指示詞の変換 229
 時称 18
 自称 66
 時称の変換 226-8
 自然性 11
 斜格形 61, 136
 習慣 149
 集合名詞 15
 従属節 91, 109
 seに導かれる～ 126
 従属節内の接続法 191
 自由話 224
 主格形 61, 62
 主格人称代名詞 18
 主格補語 46
 縮約 9, 21-2, 31, 61, 66, 76, 103, 176,
 232
 主語の省略 62
 主節 116
 主動詞 96
 受動態 113, 115
 称格 66
 称格 自称 66
 称格 対称 66
 称格 他称 66
 条件 198

条件節 207
 条件文 150, 206, 207-210
 条件法・過去形 205
 条件法・現在形 150, 163
 昇降調 53, 58
 小数点 146
 譲歩 197
 常用口語 64, 68, 183
 叙述動詞 46, 115
 叙述動詞 *estar* 22
 叙述動詞 *ser* 17
 叙述用法 33
 女性名詞 11
 助動詞 95
 助動詞 206
 助動詞 *dever* 95, 98
 助動詞 *poder* 95, 97
 助動詞 *vir* 97
 叙法 18
 所有形容詞 26, 67, 68
 親称 18, 182
 人名 24
 推量 135, 169, 207
 数 13
 形容詞の～ 37
 数の表現 145
 正書法 1
 正書法協定 2
 精密表記 7
se 付き動詞 119, 125
 接続詞 109
 接続詞 *que* 108
 接続法・過去形 213

接続法・現在形 179
 接続法・大過去形 204
 接続法・半過去形 201
 接続法・複合未来形 196-198
 接続法・未来形 194
 接接法・複合過去未来形 205
 絶対最上級 85, 86
 接頭辞 7
 切迫 151
 接尾辞 77, 86, 87, 95, 113
 先行詞 90, 91, 92, 103, 104, 109, 111
 前者 67
 前接辞 63, 64, 73
 選択疑問文 55
 前置詞 230
 相互作用 120
 相対最上級 85, 86

た

対格形 61, 63
 対格形の *nos* 74
 対称 66
 対称詞 182
 代名動詞 119
 他称 66
 他称と対照 65
 ダッシュ 221
 単位 25
 単純形 43, 155
 男性名詞 11
 知覚動詞 172
 地名 23
 直説法・過去形 127, 131

直説法・過去未来形 150, 163
 直説法・現在形 130
 直説法・大過去形 155-59
 直説法・半過去形 147
 直説法・複合過去形 131, 213
 直説法・複合過去未来形 205-7
 直説法・複合未来形 169
 直説法・未来形 133
 直接話法 161, 221, 224
 強さアクセント 7
 定冠詞 16, 21, 23
 丁寧 204
 丁寧・婉曲 210
 天候 47
 伝達動詞 221
 同化（逆行同化） 5, 6
 動詞 conseguir 81
 動詞 haver 16, 78
 動詞 ir 38
 動詞 querer 80
 動詞 saber 81
 動詞 ter 79
 動詞 ver 82
 動詞 vir 39
 動詞迂言表現 99-101, 131, 135,
 137, 150
 動詞支配 138, 231, 233
 動詞変化 43
 同綴り異義語 9
 同等比較 88
 特殊疑問文 39, 54, 110, 111, 160-1, 229

な

内接辞 136, 206
 二重過去分詞 114, 141, 143,
 二重字 2
 二重山括弧 222
 日常的口語 182
 人称代名詞 17, 18, 61, 62, 73, 75,
 118
 人称代名詞 o, a 73
 人称不定詞 142, 170-3, 194
 能動態 113
 能力 175

は

パーセント 146
 倍数 145
 場所の指示詞 229
 反復 150
 比較 85, 197
 比較級 85
 比較表現 88
 日付 25
 否定疑問文 56
 否定辞 19, 106
 否定文 19
 否定命令文 121, 122, 179, 184-8
 非人称動詞 121
 非人称不定詞 142
 百分率 146
 比喩表現 como se ... 210
 描出話法 162, 223, 224
 標準的口語、標準口語 183
 付加疑問文 57

複合形 43, 155
 複合時称 115, 141, 169, 194, 196,
 204, 205, 213
 複合名詞 15
 副詞節 116
 副詞節内の接続法 197
 複数形 13
 複文 89, 116, 159, 171
 不定回数反復 142
 不定冠詞 16, 21
 不定冠詞の複数形 56
 不定形容詞 75. 104. 105
 不定詞 43, 92, 113, 133, 142
 不定詞過去形 143
 不定代名詞 75. 104. 105
 分詞構文 116
 分数 146
 文法性 11
 形容詞の～ 33
 文法的人称 18
 平叙文 53, 56
 母音交替 15
 方角 25
 補助記号 1
 ポルトガル語正書法語彙 3

ま

無強勢語 7
 無強勢代名詞 64, 75, 109, 126, 136
 名詞化 25
 名詞節 108, 172
 命令文 121, 179
 命令法 122

黙字 7
 目的 197
 モダリティー 95, 169, 173-4

や

優等比較 88
 曜日 25
 与格形 61
 与格形の nos 74
 予定 134

ら

歴史的現在 130
 劣等比較 88

わ

話芸 224
 話法 161, 221
 話法の変換 162, 226-230

著者紹介

彌永史郎（いやながしろう）

京都外国語大学特任教授（ポルトガル語学・文学）

新正書法準拠・増補改訂版

基礎ポルトガル語文法

Nova Ortografia
Nova Edição Revista e Aumentada
Gramática Essencial do Português

2018年3月10日 第1版発行
2020年3月10日 第2版発行
2022年7月10日 第3版発行

著者 彌永史郎
Shiro Iyanaga

発行 西東舎
京都市中京区西ノ京春日町16-44-220
SEITOSHA - QUIOTO, JAPÃO.
seitohsha.com

© 2018 Shiro IYANAGA
Published by **SEITOSHA** Printed in Japan.
ISBN978-4-9912286-1-2

本書の全部あるいは一部の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化）は著作権上の例外を除き禁じられています。

